

令和6年度 第1回江別市消防委員会

開催日時：令和6年8月21日 午後2時から

開催場所：江別市野幌代々木町80番地の8 江別市消防本部庁舎3階 多目的ホール

参集委員（計6名）

工藤委員長、本田副委員長、加藤委員、野田委員、丸山委員、土屋委員

説明者 鈴木消防長、小椋次長、檜森署長、菅野総務課長、森田警防課長、濱崎警防課参事、村上
予防課長、佐野管理課長、佐藤消防1課長、北川江別出張所長、
高橋野幌出張所長、吉泉大麻出張所長

傍聴者（計1名）

土門 寛治

会議要旨（以下のとおり）

14:00 開会

副委員長の互選について、総務課長より概要説明。

江別市消防委員会条例第4条第2項の規定に基づく委員の互選により、本田広樹委員を副委員長として選任した。

報告事項（1）第2回市議会定例会案件（消防関連）について、警防課長より資料詳細説明。

質疑なし

報告事項（2）民間企業との救急需要対策に関する実証実験の結果について、警防課参事より資料詳細説明。

質疑等は以下のとおり

本田副委員長 救急需要予測グラフについて、人口減少の中で救急件数がかなり増加すると見込まれていますが、どのような考え方に基づいたものか。

警防課参事 民間企業によるAIから分析したもので、過去の救急件数及び今後の高齢者等の人口などを全部加味して分析した結果となった。

土屋委員 救急需要予測については2040年度ピークに緩やかな減少となっているが、救急需要の件数は、夏場の特に気温の高い時期、暑さというのも影響としていると個人的に思います。そこで、熱中症など、夏特有の状況につきまして、もし資料等があれば、ご説明をお願いしたい。

警防課参事 熱中症の関連ですが、本年の熱中症の件数は、8月18日現在で22件となっております。昨年の同時期については52件で、昨年よりもかなり減っている。

ただし、昨年の熱中症と思われる件数は合計で86件あり、暑さが続いている中、件数については、予断を許さない感じで推移していくと思われます。

報告事項（3）予備救急自動車（5台目）の保有について、警防課長より資料詳細説明。

質疑なし

報告事項（４）火災予防広報への取組みについて、予防課長より資料詳細説明

質疑なし

報告事項（５）今後の消防本部（署）・消防団の主な行事予定について、総務課長より資料説明

質疑なし

その他（情報提供）北海道消防学校 新校舎の概要（令和６年７月完成）について、総務課長より資料詳細説明

質疑は以下のとおり

土屋委員 昭和４０年に、江別市に北海道消防学校が新設された歴史ある建物が、今回更新されたことについては非常に喜ばしいことと思います。

総務課長 江別市と消防学校の連携など、なにか関係協力的なことがあるかお尋ねしたい。
消防学校の敷地は、平成２０年から毎年１回、消防団長査閲ということで利用させていただいている。

消防長 また、屋外訓練施設については、臨時ヘリポートとしてドクターヘリや防災ヘリが着陸できる場所として利用させていただいている。

北海道消防学校については、江別市防災あんしんマップにも掲載のとおり避難場所、避難所に指定している。また、大規模な災害が発生した場合は、緊急消防援助隊の拠点施設としての使用も想定している。

大規模な災害があっても緊急消防援助隊の拠点施設として使わない場合は、避難所としての使用もできたり、広域的な災害対応の拠点としての活用が想定されている建物と敷地であることを補足する。

工藤委員長 江別は、災害が少ないところだと感じている中で、災害時の避難所のことを考えられており、すごくありがたいことだなと感じました。

丸山委員 お願いですが、小中学校などで、消防教育の機会を設ける予定があると伺ったが、子供たちに様々な安全とか安心について伝える場面が非常に少なくなっている。消防組織として、火災予防に対する意識を、地域の子供たちや親に伝えていくことで、火災予防の活動が生かされると思う。また、引き続きよろしくお願いしたい。

加藤委員 本日、この本部庁舎に入る前に、外に消防車がずらっと並んでいたのを見て、すごくピカピカで、見ていて安心感を受けた。また、いろいろな種類の消防車両があることに気付いた。いろんなイベントでは展示されると思うが、ときどき消防本部庁舎の正面に並べて見せることもある意味、凄く大切なことで素敵だと思った。

閉会